

□議員名：恒松 恵子

1 駅前地区の活性化について

論点	小野田駅前地区都市再生整備計画によって今後、人口定住や人口集積が進んでいくのか。
回答	小野田駅前地区は平成 28 年 9 月に小野田駅前土地区画整理事業の変更を行うまでは建築行為に対して都市計画法の規制がかかっていたが、小野田駅前地区都市再生整備計画に着手することで規制が解除された。今後、人口集積が図られるよう期待している。

論点	小野田駅前地区が山口東京理科大生の居住地になるような取組は考えられないか。
回答	商業集積地区であり住環境としては小野田駅前発着のスクールバスやJRもあり利便性から考えて大きな位置づけである。大学と協議し連携を取りながら、本市として隣市に学生が流れないような方策に取組む。

論点	駅前商店街をはじめとして市内の商業事業者の経営状況の調査、商業を継続するための後継者の有無など実態把握を行っているのか。
回答	毎年、県の商店街現況調査で市内の営業店舗数と空店舗数を把握している。現在商工会議所において事業承継に関する調査を実施中であり、市は事業者の訪問で実態を把握し、商工会議所との連携を強化し、事業者に寄り添った細やかな支援や施策展開を進めていく。

論点	小野田駅前、厚狭駅前など特定の地域での創業に対して、本市独自の特長ある創業支援は考えられないか。
回答	特定地域は設けていないが、このたび山陽小野田市中小企業振興資金条例を一部改正し利用しやすくし創業支援や地域経済の活性化を進めていく。店舗リフォーム制度の導入も検討したい。

論点	質の高い地域交流や地域課題解決の場所を小野田駅前に設置できないか。
----	-----------------------------------

回答	地域交流拠点として小野田駅前に総合案内所があればよいとは思いますが今は計画がない。観光案内所については市内各所にミニ観光案内所を進めている。
----	------------------------------------------------------------------------

論点	にぎわい創出の一環として創業者応援施設が必要だと思うがどうか。
回答	にぎわい創出として非常に効果的であると思うので先進地の事例を研究していく。

論点	厚狭駅北側において、どんな業態でも出店できるのか。
回答	厚狭駅北側については用途地域は商業地域であり、建築基準法上は可能である。

## 2 山口ゆめ花博における本市の取組みについて

論点	山口ゆめ花博において本市の魅力を最大限発揮するためにどのような計画があるのか。
回答	県下 19 の市町が参加する「19 市町の花通り」というシンボルストリートが設置される。本市の花・木を生け花にし、市町のイメージを写真として綴る。本市はツツジを市内のガラス作家が制作した花器に生け、特長を出す。

論点	各市町の日、市町デーにおける本市の実施事業計画はどうか。
回答	指定された日に指定ブースで終日、ガラス文化や特産品、観光地の利用促進などにより県内外に本市の魅力を発信し、理科大とも連携する。ステージイベントも 2 時間割り当てられ具体的な内容はこれから計画する。

論点	入場券の販売はどうするのか。
回答	入場券については本部から市に要望がある。山口ゆめ花博連携推進本部を庁内に立ち上げ若手職員で実行委員会を作り、全力で成功に向けて取り組む。